
岐阜県立岐阜工業高等学校

学 校 長 江口 健治郎

学校住所 岐阜県羽島郡笠松町常盤町1700 電話 058-387-4141

1 会議の名称 岐阜県立岐阜工業高等学校 学校評議員会（第2回）

2 会議の構成 委 員

加藤 なるみ 地域住民代表

河合 一郎 株式会社光製作所 総務部長

木村 理恵 地域住民代表

杉田 悦男 名古屋鉄道株式会社 笠松駅駅長

長屋 博明 岐阜工業高等学校育友会会長

（委員名は五十音順）

学 校 側

江口 健治郎 校長

堀 俊郎 副校長

伊藤 博史 事務部長

棚橋 毅 教頭

山内 義之 教頭

中西 竜也 教務主任

後藤 慎二 生徒指導主事

本田 悟志 進路指導主事

岡田 春雄 工業教育部長

3 会議の目的 学校運営等について、学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを目指す。

4 会議の開催 平成30年1月26日（金） 13:15～15:15 岐阜工業高等学校校長室、他委員3人と学校側8人が出席

5 会議の概要

<授業参観・施設見学>

- (1) 機械科ものづくり教育プラザ見学、デザイン科実習参観、電子科課題研究参観
化学技術科課題研究参観

<会議>

(2) 開会

学校長挨拶

(3) 本校教育活動の概要説明（中間報告）

- ① 学習指導について 教務主任
② 生徒指導について 生徒指導主事
③ 進路指導について 進路指導主事
④ 工業教育部について 岡田工業教育部長
⑤ 定時制について 副校長

(4) 協議「工業高校に期待するもの、地域から学ぶこと」

- 意見 1 会社でも資格があることを重要視するようになってきている。昨今の話題の通り資格を持っていないとできない作業がある。在学中にできるだけ資格を取っておくことは本人の勉強にもなり会社としても助かる。
- 意見 2 授業参観で真面目に授業を受けている生徒が多かったことと、機械科に女子生徒が2人いたことに関心を持った。一生懸命取り組んでいる姿を見て機械のことも女子にできるんだと感心した。課題研究で携帯アプリ開発の説明をしてくれた生徒がいたが、改めてアプリの時代を感じた。
- 意見 3 目標があり自分の好きなことができる生徒を見てすごくいいと感じた。進学のための勉強だけでは目標意識は身につかないとも思った。また、外部講師の方が以前よりたくさんみえている。外部講師に教えてもらうことで社会とのつながりを感じる機会ができ刺激があつていいことだと思った。こういう機会を捉えて早く自分がすべきことを見つけるとよい。
- 意見 4 学校内が以前より汚くなっているように感じる。以前は工業高校には外部から色々な人がみえるので挨拶と掃除はしっかりさせたいと当時の校長が言ってみえた
- 意見 5 民間航空機は過渡期を迎えている。中部地区はボーイング社の仕事を受けていて77Xの生産が軌道に乗れば上向きになる。今はロケット開発が盛んでH3エンジンを搭載したロケットが2020年に打ち上げ予定で宇宙関係は明るい。中部地区は航空機産業が盛んで、この技術が他の地域に流出しないよう本校で次の新しい技術者を育て、中部地区で技術力を高めてほしい。
- 意見 6 今年度からスマートフォンの取り扱いにルールを設けて管理するようにしたという説明を聞いた。会社でもスマホの取り扱いには懸念するところがあり、スマホの正しい扱い方を身に付けさせてほしい。

6 会議のまとめ

今回（第2回評議員会）は、実習や課題研究の様子を見学後、本校の教育活動の概要を説明し、意見、提言をいただいた。是非、その内容を精査して今後の学校運営に役立てていきたい。引き続き本校に期待することや地域からの要望を学校に伝えて欲しい。